

拔萃

獨逸鐵鋼業の近況 (承前)

其二四(The Iron & Coal Trades Review, Oct. 7, 1919.)

鐵鋼

K O 生

ウエスフトアリアに於ける價格上騰運動は其後繼續せられ新價格の決定を見るに至れり、然れども該價格はライン左岸並に上部シレジアに於けるものより低廉なり、特に完成產物に於て然りとす。銑鐵企業組合は十月九日、價格を一噸に付、一一二馬克乃至一六二馬克上騰せしめたり、されは目下の相場は本年の初めに比較して二倍半に相當す。價格上騰の原因は十月一日より鐵道運賃五〇パーセントの上騰、骸炭並に鎔劑の騰貴、外國鑛石の騰貴、之は目下外國取引所に於ては低減を主張せらるれども、並に一般經費の増額に依るものなり。現在の價格を一九一四年七月に於けるものと比較せは左の如し。

戰前

一九一九年十月一日

ヘマタイト銑

七九・五〇_{馬克}

七三五・五〇_{馬克}

一號鑄物用銑

七五・五〇

六五二・五〇

三號鑄物用銑

七〇・五〇

六五一・五〇

ジーゲルランド平爐銑

—

五七七・〇〇

ジーゲルランド一〇乃至一二%

—

六〇三・〇〇

ルクセンブルグ鑄物用銑

六〇・〇〇

六〇三・〇〇

又鋼企業組合及び鋼組合の聯合團體は價格上騰問題に就き努力せり。十月八日、製造業者、需要者並に従業員代表者等は、半成鋼一噸に付二五〇馬克、必需品なる種々壓延產物一噸に付、三〇〇乃至四五〇馬克上騰すへきを主張せり。經濟省代表員は價格上騰の要求に對して認可の口約を躊躇せり、其後當局の注意に據り上記の額を低減して一噸に付、約五〇馬克上騰せり、即ち目下の相場は左の如し。

成 鋼

八三〇 馬克

線

索

一二〇〇 馬克

鋼

九六五

板

鋼

一、一八五

重 軌 條

一、〇二〇乃至一、〇五〇

中 薄 板

一、三二〇

輕 軌 條

一、〇五〇

薄 板

一、三三五乃至一、四一〇

棒 鋼

九九五

箍 鋼

一、一五〇

棒に就ては九九五馬克なるか、ライン左岸に於ては一、三〇〇馬克なり、又國際市場なる他の地方例へは上部シレジアの如きは、當局に於て上記ウエストフアリア相場より一噸に付、平均二〇〇馬克超過せらるへきを認可せり。

約二〇會社より組織せる線索企業組合は今年の終りに於て其取引は満了すへきに就き、更に八〇會社を包含する新企業組合を設立せんことを計畫せり。

ドイスブルグ、マイデリツヒなるライン製鋼會社は當局の通告なるにも係らず、鋼企業組合の延長に反對せり、目下半成鋼並に型鋼等は公開市場に於て處理せらるゝことゝなれり。

其二五(The Iron & Coal Trades Review, Oct. 24, 1919.)

過去二箇年に於ける各會社の經濟狀態は左の如し。

會社名

純

益

普通株に於ける配當歩合

會社名	一九二七—二八年	一九二八—二九年	普通株に於ける配當歩合
ボエニツクス製鋼會社	二、三四六、〇〇〇 _磅	五八六、〇〇〇 _磅	二〇%
チイペンウイセン製鋼所	三四六、〇〇〇	一四六、〇〇〇	二五
タイセン會社	三一九、〇〇〇	一一三、〇〇〇	一〇
メンデン、セワルテ、製鋼會社	七四、〇〇〇	—	一六
ビスマーク製鐵所	三七三、〇〇〇	五八、〇〇〇	三〇
ウイツテン製鋼所	二七〇、〇〇〇	八一、〇〇〇	二七
ルーベツク製鐵所	一五四、〇〇〇	九七、〇〇〇	二二
ハスパー鐵鋼會社	一二四、〇〇〇	一二四、〇〇〇	一六
ウイゼル製鐵所	二二、〇〇〇	一三、〇〇〇	一五
ボスベルデイ壓延工場	三四、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一二
エツシワイラー、レーテンゲン工作所	一九、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇
ウエストフアリア鐵線工作所	一二、〇〇〇	四、〇〇〇	一〇
ニユルンブルグ製鐵所	一七、〇〇〇	一三、〇〇〇	一五
ストルヒ、シエネブルグ工作所	一七八、〇〇〇	六八、〇〇〇	一七
機械工具製作所	三三、〇〇〇	一三、〇〇〇	二五
ターナー機械工作所	二二、〇〇〇	二五、〇〇〇	一五
デイリンドン製鐵所	三三六、〇〇〇	二五一、〇〇〇	一三
ラウチハンマー會社	三六〇、〇〇〇	八三、〇〇〇	二〇

ケーニヒ、ラウラ製鐵所

四二八、〇〇〇

一二

ガイスワイド製鋼所

二八

一〇

壓延鑄造會社

二七、〇〇〇

二五、〇〇〇

一七

一二

鐵 鋼

瑞典鐵鑛價格は戰前に於て一噸一九乃至二〇馬克なりしか、目下は一噸約二八〇馬克なり、而して同價格は獨逸港より汽車、汽船の運搬費を除外せり。ジーゲルランドの生鑛價格は最近一噸一六、六〇馬克、石灰は二五馬克上騰せり、依て目下前者は七九、一〇馬克、後者は一一八、四馬克なり。ローレンに於ける鑛石は鑛山渡、一八法にして夫より國境迄運搬費三法追加せらる、されとも新價格の協議は目下進行中なり。

經濟省は最近銑鐵、半成鋼の價格上騰を認可せり、然れとも尙一噸、五〇馬克値上の要求は拒絶せり、之と同時に伯林中央鐵鋼輸出局に於ては輸出品に對して許可申請の必要な品目の詳細なる目錄を布告せり。之は最近エツセンの會議に於て市場の開放を促進せしめたるに依るものなり、之に依りて取引所相場に影響するを以て内國價格は輸出價格と平均するに至るへし。されとも政府の管理價格は過去に溯りて效力を奏せず。材料の需要は目下益々増加するに至れり。即ち製造業者と商人と最高價格を以て競争せり。而して彼等は鐵鋼供給の促進に對して工作費として一噸に付き二百馬克支辨せるか如き狀態なり。

フライド、グループ會社はバーデンなるファール農具機械製作會社と利益共有を協定せり。右二會社は伯林に販賣會社建設の計畫をなせり。

佛國ロウブロイル、エネスなる製鐵業者エスベラレス氏は白耳義國境なるスタインフォート會社を一〇、〇〇〇、〇〇〇法にて買收せりと云ふ。

マンハイムに於ける南獨逸製鋼會社は、獨逸ルクセンブルグ鑛山製鐵會社のドルトウンド工場と聯合せるものにして南方に對して生産物の販賣を目的として組成せられしものなり。

上部シレジア製鐵會社はシレジア製鐵所と利益共有の協議をなせり。

其二六(The Iron & Coal Trades Review. Oct. 31.1919.)

鐵 鋼

骸炭並に石炭の大缺乏の爲めに銑鐵生産は愈よ困難の度を増すに至れり、鑄物用銑は目下唯需要の四分の一を得るに過ぎず。ルクセンブルグ鑄物用銑は獨逸に於て販賣するものもなく殆んど得難き状態なり、エッツイラー會社の如きは販賣を中止せり。而してルクセンブルグに於ける全生産は政府管理の下にありて鑄物用鐵鋼の載貨を送り、之より全國の需要者に銑鐵を分配せらるゝなり。鋼組合員は今週會合して十一月に於ける價格に於て商議せり。製造業者は價格引上を主張すれども經濟大臣は十月相場の保留を勸告せり、而して骸炭並に石炭價格の之以上騰貴せざる限りは現狀を維持すへしと云ふ、然れども鐵鋼相場は尙騰貴すべく豫想せらるゝなり。

鋼企業組合の管理人なるガスマン氏は戰時中南米を視察せるものなるか、氏は南米チリ及アルゼンチン等は獨逸生産に係る鐵鋼の凡ての種類を輸出するに最も有望なることを力説せり。彼の所説に據れば元來南米は英米の勢力範圍内にあれども其材料を精細に測定する時は我には充分材料の超過せるものあり、加ふるに獨逸工業界の一大團結を以て之に當らは恐らく彼等に對抗することの強ち至難ならざるへしと云ふ。

獨逸西南地方に於ける製鐵會社の損害は遂に他地方に注意を喚起せしむるに至れり。西部に於けるタイセン及クロクナー等の管理者はデヨージ、マリオン鑛業並製鐵會社の株式の半を獲得せり、又彼等は目下クレツフェルド工作會社の利權を獲得せんとせり。又タイセン團體はフリードリツヒ製

鐵所の所有權を獲得せり、然れどもグユーテホーフヌング製鐵所はニューレンブルグ製鐵所に其主權を獲得せられたり。

伯林に於ける鐵材建築企業組合(以前の橋梁及鐵材建築組合)は一九一八——一九年該組合に於て生産せるもの合計一五一、三三一噸なるを報告せり、而して一九一七——一八年に於ては二六二、七九九噸にして一九一三——一四年に於ては四一一、九五一噸なりき。

鐵鋼生産

鐵鋼生産組合の報告に據れば九月に於ては銑鐵生産の減少を示せり、此内には勿論ローレン及ルクセンブルグ等の生産を除外せり、而してシレジアに於ける生産か二五パーセント減少せるは其一因なるへし。九月に於ける銑鐵の日々平均の生産高は一七、七〇六噸にして八月に於ては一八、三四八噸七月に於ては一七、七二一噸なりき。本年の各月生産高及之を前年度と比較せるものは左の如し。

	一九一四年	一九一八年	一九一九年
一 月	一、五六六、五〇五	九三三、五七〇	五〇六、一八五
二 月	一、四四五、五一一	八〇二、七六八	四七五、五八六
三 月	一、六〇二、八九六	一、〇三九、〇九二	五五八、七八八
四 月	一、五三四、四二九	一、〇八四、六〇一	四三九、九七五
五 月	一、六〇七、一九三	一、二八四、七九四	五二四、九八六
六 月	一、五三一、三二三	一、二八二、四一五	五三一、六三二
七 月	一、五六四、三四五	一、二七九、九四七	五八〇、八一九
八 月	五八六、六六一	一、二五五、〇八四	五六八、七八五
九 月	五八〇、〇八七	一、五〇五、三八六	五三一、一六七

合 計

一二、〇一八、九四〇

一〇、〇六七、六五七

四、七一一、九二三

九月に於ける鋼の生産高は七三七、五一六噸にして、八月に於ては七三六、六八三噸なりき、九月に於ける壓延産物の生産高は六一三、五四五噸にして八月に於ては六〇五、一七九噸なりき。

會 社 近 信

過去二箇年に於ける各會社の財政狀態は左の如し。

會 社 名	純 益		普通株に於ける配當歩合	
	一九二七—二八年	一九二八—一九年	一九二七—二八年	一九二八—一九年
ハーペン炭坑會社	六七〇、〇〇〇 _磅	一六八、〇〇〇	一二%	五%
ボヒューム製鋼會社	七八〇、〇〇〇	一一八、〇〇〇	二二、五	五
アネン鑄鋼所	八九、〇〇〇	二一、〇〇〇	二五	五
エシワイラー鑛山會社	二六〇、〇〇〇	二五四、〇〇〇	一二	一二
グロスマン鐵鋼會社	五、〇〇〇	七、〇〇〇	二五	一〇
シユウエルム製鐵所	九六、〇〇〇	二七、〇〇〇	一六	一〇
ゴータ車輛製作所	一一四、〇〇〇	五〇、〇〇〇	二五	一五

其二七(The Iron & Coal Trades Review. Nov. 7. 1919.)

鋼 鐵

ルクセンブルグよりの情報に據れば、グラント、ダッチー政府は鐵鑛、銑鐵、鋼塊並に鐵鋼の直接鑄物等の輸出を禁止せり、然れども完成品及び半成産物は依然として輸出せらるへしと政府は又鹽基性鐵滓の全生産を最高價格を以て買收せり、鐵鋼禁輸前一兩日に於てルクセンブルグ銑の價格は一噸に付運搬無料にて二八五法なりしものか、三一〇乃至三一五法に騰貴せり。

戰時中黑海の封鎖は瑞典鐵鑛輸送に大影響を與へたり。當時瑞典鐵鑛汽船が既に獨逸の港灣に碇泊して荷揚せるを禁止せられたるを以て、瑞典は大に抗議を發したれども、封鎖當局者は之に何等の回答する所なかりき。此間上部シレジア工作所に於ける鐵鑛供給は其後數箇月を保證せられたり。茲に於てフランスウイック地方に於ける鐵鑛並に銅鑛の開発を計畫せられたり。之は久しき以前より、の目論見に係るものなるか終に實施の運びとならざりしものなり。現在作業中に屬す。

目下鋼組合は鋼企業組合又は其他凡ての企業組合に代りて活動せり。同組合は最近價格を協商せり。そは十月中施行せる A、B 生産物の價格を十一月迄繼續すべき提案に關して、經濟大臣も之に賛同し、又會員の多數も之に同意せるを以て、本月の價格は變化せざることに決定せり。

車軸工作企業組合は今年末迄延期せられたり。而してプレスラウに於ける本部は、伯林シャールツテンブルグに移轉せらる。此間若し異議なかりせば、該企業組合は一九二〇年の終迄には自ら刷新せらるへし。作業の狀況は目下注文豊富なれども、石炭並に其他原料の缺乏の爲めに生産力を大いに減少せらる。製作品の多數はプロシア、ヘッセン鐵道會社の注文に屬するものなり。該組合の事業は未だ鐵道の不足を補ひ、又は至急を要する車輛の修理等の需要は不可能なり。

クロイソートなるシュナイダー會社及聯合ブルバツハ、アイヒ、デューデリング會社は、ライン左岸に於けるゲルシェンキルヘン會社の工作所を繼承せんとて設立せられたる新會社の資本株式の五分の一を領有せり。又佛國、白耳義、共同ルクセンブルグ團體はルーメリングン及イングバルト鐵鋼會社の工作所を三七五〇〇〇〇〇法にて獲得せりと云ふ。

上部シレジア鐵道材料會社はフリードリツヒ製鐵所に就て報告せり。即ち同製鐵所は和蘭、瑞西其他海外諸國より多大の注文を得たり。元來同所は近來米國と競争せるものなるか目下米國にては鐵のストライキの爲めに自然同製鐵所か斯る盛況を呈するものなるへし。

機械工具の輸出

機械工具製造業者の獨逸組合は輸出業に關して將來價格の管理を施行せんことを決議せり、其通告に據れば、同製造業者は一九一四年七月施行せられたる標準價格を採用すへし、而して輸出の注文に對しては之に七〇〇パーセント附加せらるへし。其附加歩合には爲替相場の差を包含せられたり。戰時中、中立國よりの注文に對しては、以上の割増歩合を適用せらる。然れども獨逸の協商國に對しては四〇〇パーセント附加せらる。又分立國には二〇パーセント、商人には一二パーセント附加せらるへしと云ふ。

會社近信

過去二箇年に於ける各會社の財政狀態は左の如し。

會社名	純益		普通株に於ける配當歩合	
	一九二七—二八年	一九二八—二九年	一九二七—二八年	一九二八—二九年
ラウチハンマー會社	六三〇、〇〇〇 磅	八三、〇〇〇 磅	二〇%	六%
ガゲナウ製鐵所	五八、〇〇〇	二一、〇〇〇	一六	八
ニインブルグ鑄造所	四、三〇〇	三、四〇〇	一〇	七、五
クローネ製鐵會社	一七、〇〇〇	六、〇〇〇	一二	四
ウエストフアリア製鐵所	一五、〇〇〇	一五、六〇〇	一八	一八
テイグラ―機械製作所	一八、〇〇〇	四、〇〇〇	一五	五
シエーネベルグ鐵工所	一七八、〇〇〇	八〇、〇〇〇	一七	一〇
テューリンシア金屬會社	四五、〇〇〇	二七、〇〇〇	二四	二〇
カルク機械製作所	七三、〇〇〇	四四、〇〇〇	二〇	一二

ハーゼンクレバー機械製作所	三四、〇〇〇	二四、〇〇〇	三〇	一五
シース機械工作所	—	—	一〇	—
イー、エス機械會社	二一、〇〇〇	二一、〇〇〇	一〇	一〇
バローフ機械會社	六、〇〇〇	四、七〇〇	九	六

其二八 (The Iron & Coal Trades Review, Nov. 14, 1919.)

鐵 鋼

本年九月ローレンに於ける鐵鑛生産高は四四〇、〇〇〇噸にして、八月は六五〇、〇〇〇噸なりき、九月に於ける生産の減少は坑夫ストライキに基因す。

銑鐵企業組合の管理者は十一月四日の會議に於て銑鐵の需要は大いに制限を加へらるべきを決議せり、價格は變化せざることをす。最近銑鐵の生産に就いて骸炭の缺乏、ジゲールランドに於ける鐵鑛坑夫のストライキ等に據りて大いに減退を來せり、且つ鐵道貨車の缺乏の爲め銑鐵輸送を阻礙せらる。

鋼會社の管理者は十一月五日エツセン鐵道會社か古鐵道材料を三、〇〇〇噸競争的に購入せるを例證として、鐵屑價格の絶えず上騰することに就て注意を喚起せり。推測に據れば是等のものは製鍊せらるゝ前に一噸に付五〇乃至七〇馬克の費用を要す、全噸數は數多に區分せられ、其の多くは一噸に付、六〇〇乃至七〇〇馬克に、或る部分は八〇〇馬克迄供給せらる。併し目下の價格は保合情態なり、斯の如く近來屑鐵價格の大なる上騰の原因は屑鐵の大量を鎔鑛爐に使用せらるゝか爲めなり、從來は平爐に於ける製鋼業者か其の至要なる購買者なりき。目下の屑鐵價格に於て、屑鐵を使用するより瑞典鐵鑛を製鍊するか却て安價なり。

鋼鑄物業者組合は内國に於て最大なる鑄造所六〇以上を包含せる組成なり。同組合は鑄鋼業に關

78 して工業的並に經濟的利益増進の目的にして、ベライン獨逸製鐵業者と聯絡せるものなり。組合長はデュッセルドルフなるクリーガー氏なり。同組合會議に於て間接輸出品の調査並に鐵鋼調査機關設立に關して協議せり。

イルセデー製鐵會社に於ける株主は最近政府計畫の運搬會社の組成に對して抗議せり、政府は總資本金二〇、〇〇〇、〇〇〇馬克に對し五、〇〇〇、〇〇〇馬克資金追加を提供せり。

獨逸ルクセンブルグ會社はダンチヒに横はれる破損軍艦三隻を購入せり、屑鐵に使用せん爲めなり。

會社近信

過去二箇年に於ける各會社の財政狀態は左の如し。

會社名	純益		普通株に於ける配當歩合	
	一九二七—二八年	一九二八—一九年	一九二七—二八年	一九二八—一九年
ビマスーク製鐵所	三七三、〇〇〇 磅	五八、〇〇〇 磅	三〇%	五%
ウエストフアリア鐵工所	九一、〇〇〇	一四、〇〇〇	一〇	—
マンネスマン製管會社	九九八、〇〇〇	二五一、〇〇〇	一五	六
ベツカー製鋼所	二五四、〇〇〇	一一九、〇〇〇	二〇	八
機械工作所	三五一、〇〇〇	二九二、〇〇〇	一五	八
獨逸瓦斯機關會社	二〇三、〇〇〇	一四一、〇〇〇	一〇	七